

平成30年9月18日
広島市経済観光局
農林水産部水産課

平成31年度以降の取組体制について（案）

1 概要

太田川産アユ・シジミの資源再生懇談会を開催し、「太田川再生方針」に基づく長期的な方策の継続的な実施を検討するとともに、短期的、中期的な方策の効果的なフォローアップを行い、太田川の再生を目指す。

2 推進体制の概略

第2次 太田川産アユ・シジミの資源再生懇談会	
構成員	行政等： 国土交通省太田川河川事務所 広島県水産課、河川課 （公財）広島市農林水産振興センター 広島市農林水産部水産課
	学識経験者： 松田 治氏（広島大学名誉教授） 濱口 昌巳氏（瀬戸内海区水産研究所干潟生産グループ長 二枚貝専門） 高橋 勇夫氏（たかはし河川生物調査事務所代表 アユ専門）
	漁業関係者： 太田川漁業協同組合 広島市内水面漁業協同組合
	水利権者： 中国電力株式会社 （オブザーバー） 広島県水道課 広島市水道局設備課
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・短期・中期的な方策に基づく取組のフォローアップとその報告 ・長期的な方策に基づく高瀬堰の運用の継続的な運用に向けた検討 ・長期的な方策に基づく祇園水門・大芝水門の試験運用に向けた検討

3 今後の計画

年度	平成 31～35 年度	平成 36 年度
懇談会の開催	○（年1回）	未定
短期的、中期的な方策	経常的な取組として実施	
短期的、中期的な方策のフォローアップ	方策のフォローアップ	
長期的な方策（高瀬堰の運用）	試験運用の継続 試験運用を実施しながら、継続的な運用を検討	継続的な運用の可否を決定
長期的な方策（祇園水門・大芝水門の運用）	試験運用の検討 塩水遡上に配慮した運用の検討、放水路の環境調査等	継続的な運用の可否を決定
長期的な方策の効果検証	効果検証調査	未定